

市 場 概 要

下 関 市 地 方 卸 売 市 場 新 下 関 市 場
(令 和 7 年 度)

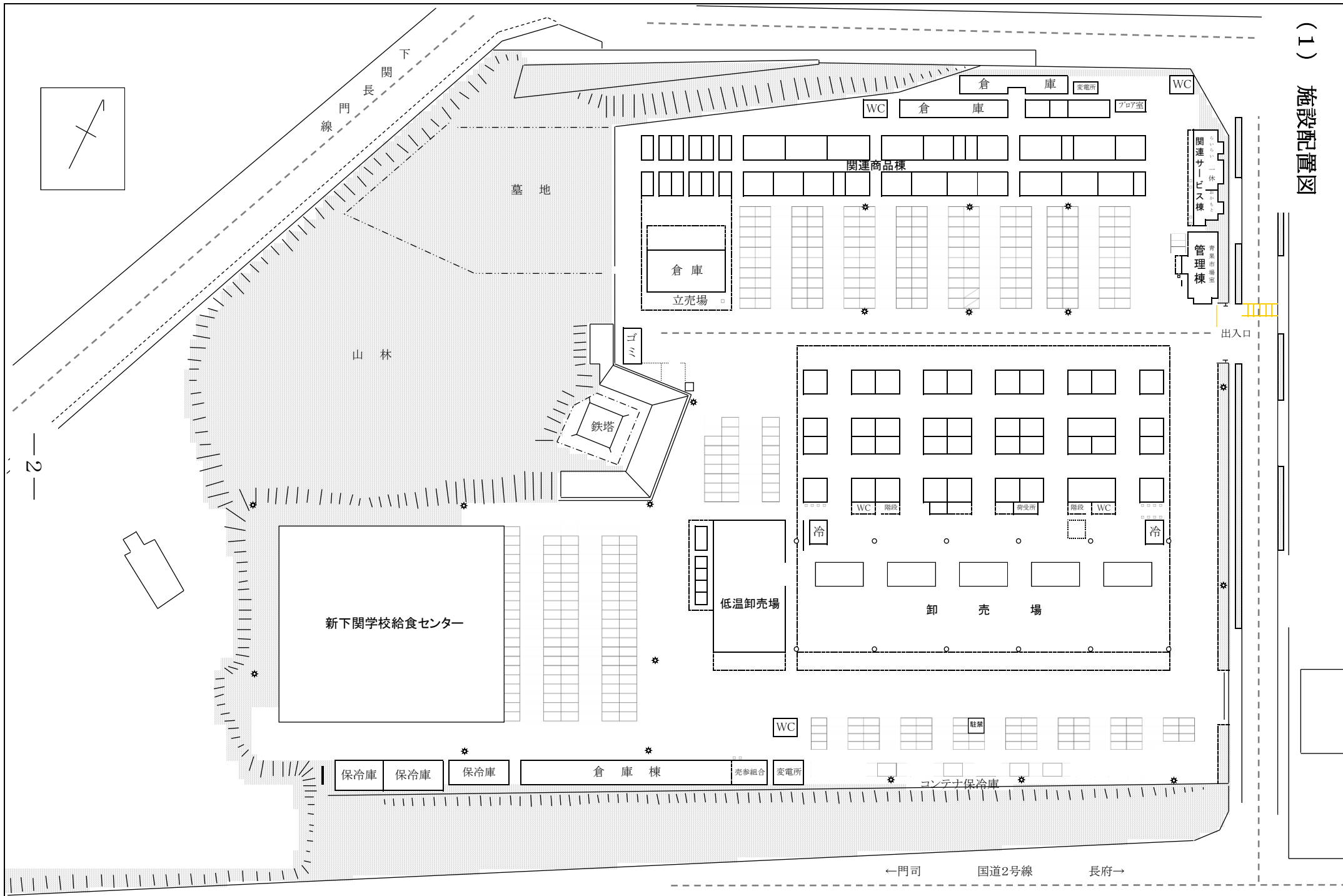
目 次

1	下関市地方卸売市場新下関市場の位置	1
	(1) 施設配置図	2
	(2) 施設概要	3
2	下関市地方卸売市場新下関市場の沿革	4
3	下関市地方卸売市場組織図	6
4	下関市地方卸売市場新下関市場運営委員会	7
	(1) 設置	
	(2) 下関市地方卸売市場運営委員会委員名簿	
5	開場の状況	8
	(1) 開場の期日	
	(2) 開場の時間	
	(3) せり開始時刻	
	(4) 開場日数	
6	財政及び機構	
	(1) 市場財政の状況	9
	(2) 施設使用料	10
7	市場内業者	11
8	統計資料	
	(1) 市況の概要	12
	(2) 年度別取扱高一覧表	13
	(3) 令和5・6年度月別取扱数量・金額比較	14
	(4) 令和6年度主要品目・主要産地	15

1 下関市地方卸売市場新下関市場の位置



(1) 施設配置図



(2) 施設概要

施 設 名	面 積 m ²	備 考
卸 売 場	3, 7 2 7	新下関青果株式会社
低 温 卸 売 場	6 4 0	同上
仲 卸 売 場	4, 0 4 6	(仲卸売場) 3, 6 2 6 m ² (仲卸売場別棟) 4 2 0 m ²
倉 庫	9 4 6	・ 倉 庫 (果実) 3 2 6 m ² ・ 倉 庫 (関連) 2 8 0 m ² ・ 保冷倉庫 3 4 0 m ²
管 理 棟	3 5 9	
関 連 商 品 売 場	1, 8 6 2	・ 関連店舗 1, 7 4 0 m ² ・ サービス店舗 1 2 2 m ²
業 者 事 務 所	5 4 9	・ 卸売業者 3 3 8 m ² 1 社 ・ 仲卸業者 8 2 m ² 1 組合 ・ 売買参加者 4 9 m ² 1 組合 ・ 関連事業者 8 0 m ² 2 社
駐 車 場	9, 7 8 0	・ 3 8 0 台収容 (通路を除く)
そ の 他	6 5 6	・ 立売場 1 6 0 m ² ・ その他の施設 会議室 1 9 8 m ² 屋外便所 (3 箇所) 9 0 m ² 卸売場棟便所 (4 箇所) 8 8 m ² ごみ集積所 4 0 m ² 変電設備 (3 基) 4 0 m ² ガバナー室 4 0 m ²
市 場 敷 地 面 積	4 8, 3 1 7	

2 下関市地方卸売市場新下関市場の沿革

昭和8年4月	下関市唐戸町に下関市唐戸魚菜市場を開設
昭和35年2月	市場地先海面6,301㎡（1,906坪）の埋立工事完工 総事業費70,824千円
昭和37年6月	新上屋（5号上屋）完成 （唐戸魚市場（株）及び青果（倉庫として使用）が入場） 総面積3,470.52㎡、総工事費45,063千円
昭和40年2月	青果部卸売業者の中央青果（株）三共青果（株）合同青果（株） 丸日青果（株）山口県経済連の5社統合により下関青果 株式会社設立
昭和40年4月	青果部卸売業者の西山青果（株）協同青果（株）大西青果（株） の3社統合により関印青果株式会社設立
昭和46年7月	卸売市場法施行
昭和48年1月	卸売市場法の施行に伴い、新条例を制定し、市場名称 を下関市地方卸売市場と改称
昭和49年11月	下関市地方卸売市場南風泊市場を開設
昭和49年12月	勝山に新市場建設工事着工
昭和51年3月	新市場竣工、建設業者大林組、総工事費2,214,650 千円
昭和51年6月	新市場は、下関市公設青果物地方卸売市場として営 業開始 従来の唐戸市場、南風泊市場は、下関市地方卸売市場 唐戸市場及び下関市地方卸売市場南風泊市場として 運営
昭和52年7月	新市場の下関市公設青果物地方卸売市場は農林大臣 の認可により、全国で49番目の中央卸売市場とし て営業開始
昭和56年3月	中央卸売市場拡張に伴う用地買収 買収面積6,561.36㎡、買収費191,550千円
昭和56年9月	中央卸売市場内鉄塔移設、移設費49,044千円
昭和57年3月	中央卸売市場施設拡張用地造成及び駐車場増設 (6,047㎡)事業費 97,597千円

昭和58年7月	中央卸売市場卸売業者の下関青果(株)関印青果(株)の2社統合により新下関青果株式会社を設立
昭和60年3月	中央卸売市場低温倉庫新設122㎡事業費23,459千円
昭和61年3月	中央卸売市場基盤整備(用地造成)4,000㎡ 事業費20,803千円
昭和63年1月	中央卸売市場倉庫・保冷倉庫増設227㎡ 事業費40,145千円
平成3年2月	中央卸売市場倉庫保冷改良102㎡ 事業費19,519千円
平成5年3月	中央卸売市場低温売場建設963.46㎡(延面積640㎡) 事業費304,210千円
平成20年4月	農林水産省第8次卸売市場整備基本方針 (H16年10月)に基づき、地方卸売市場に転換 (市場名：下関市地方卸売市場新下関市場)
令和6年4月	場内に新下関学校給食センターが建設、供用開始

3 下関市地方卸売市場組織図

下関市長

|

副市長

|

農林水産振興部長

|

農林水産振興部理事（部次長事務取扱）

|

農林水産振興部参事（市場流通課長事務取扱）

市場流通課 課長 — 課長補佐（1名）

唐戸・南風泊市場：水産部

主任 (3名)

主事 (1名)

会計年度任用職員 (1名)

南風泊市場整備推進室

室長（課長補佐） (1名)

主査 (2名)

新下関市場（青果市場室）：青果部

室長（課長補佐兼務） (1名)

主任 (2名)

会計年度任用職員 (1名)

特牛市場（豊北総合支所水産係兼務）：水産部

係長 (1名)

主任 (1名)

（令和7年4月1日現在）

4 下関市地方卸売市場新下関市場運営委員会

(1) 設 置

下関市地方卸売市場新下関市場業務条例第54条に基づき、下関市地方卸売市場新下関市場における業務の運営に関し、必要な事項を調査審議するため、委員20人以内をもって組織している。

(2) 下関市地方卸売市場運営委員会委員名簿

任期：2年（令和6年8月1日～令和8年7月31日）

	委員氏名		所属団体名・役職名
1	柳 純	学識経験者 (会長)	公立大学法人下関市立大学経済学部 教授
2	中尾 勝典	学識経験者	下関商工会議所中小企業振興部 部長
3	周崎 淳一	生産者代表	山口県農業協同組合下関統括本部 本部長
4	井上 裕幸	生産者代表	山口県農業協同組合 経営管理委員
5	尾辻 文	消費者代表	下関市連合婦人会 事務局長
6	田中 啓子	消費者代表	下関市消費者の会 事務長
7	堀内 克也	市場関係者	新下関青果㈱ 代表取締役社長
8	三元 邦彦	市場関係者	新下関青果㈱ 果実部長
9	岡崎 準一	市場関係者	下関青果仲卸協同組合 理事長
10	岡村 教之	市場関係者	下関青果仲卸協同組合 理事
11	西井 孝俊	市場関係者	新下関青果協同組合 会計理事
12	吉廣 亮太郎	市場関係者	勝山総合食品卸商業組合 組合長

令和7年4月1日現在

5 開場の状況

(1) 開場の期日

1 月 5 日から 1 2 月 3 1 日までの日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除いた日。

ただし、特に必要があると認めるときは休日に開場し、又は休日以外の日に開場しないことができる。

(2) 開場の時間

午前 0 時から午後 1 2 時まで

(3) せり開始時刻

午前 5 時

(4) 開場日数（令和 6 年度）

2 4 8 日（うち、せり日数 2 4 6 日）

6 財政及び機構

(1) 市場財政の状況

【収益的収入及び支出】

(単位：千円)

項 目		R 6 年度決算額	R 7 年度予算額
総収益		100,995	100,070
	営業収益	85,237	83,290
	取扱額割使用料	3,336	3,606
	施設使用料	52,952	52,307
	その他営業収益	28,949	27,377
	営業外収益	15,758	16,780
	他会計繰入金	15,751	16,780
	受取利息	6	0
	貸付金元利収入	0	0
	消費税還付金	0	0
	国庫補助金	0	0
	その他	1	0
総費用		84,483	89,534
	営業費用	78,431	84,694
	市場運営費	78,431	84,694
	施設維持補修費	0	0
	営業外費用	6,052	4,840
	地方債利息償還金	0	0
	貸付金	0	0
	公課費	6,052	4,840
収支差引		16,512	10,536

【資本的収入及び支出】

(単位：千円)

項 目		R 5 年度決算額	R 6 年度予算額
資本的収入		9,524	20,118
	地方債	4,400	15,000
	他会計繰入金	5,124	5,118
資本的支出		14,737	25,237
	建設改良費	4,488	15,000
	建設事業費	4,488	15,000
	地方債償還金	10,249	10,237
	地方債元金償還金	10,213	10,217
	地方債利息償還金	36	20
収支差引		△ 5,213	△ 5,119

(2) 施設使用料（下関市地方卸売市場新下関市場業務条例 別表）

種別		使用料
卸売業者市場使用料	取扱額割	1 月ごとに当該月の卸売金額(消費税額及び地方消費税額を含む。)の 1, 0 0 0 分の 3
	面積割	卸売場の面積 1 m ² につき月額 1 2 6 円
		低温卸売場の面積 1 m ² につき月額 1, 1 2 0 円
仲卸業者市場使用料	取扱額割	仲卸業者が条例第 3 9 条に規定する買入れを行なった場合におけるその買入れた物品の販売金額(消費税額及び地方消費税額を含む。)の 1, 0 0 0 分の 3
	面積割	仲卸売場の面積 1 m ² につき A 店舗（卸仲卸売場棟内）月額 8 8 5 円 B 店舗（A 店舗以外のもの）月額 7 5 8 円
関連事業者売場使用料		施設面積 1 m ² につき月額 1, 0 1 1 円
事務室使用料		施設面積 1 m ² につき月額 7 5 8 円
会議室使用料		1 回(3 時間)につき 7 5 8 円
倉庫使用料 (保冷機能を有しないもの)	果実倉庫	施設面積 1 m ² につき月額 6 3 2 円
	上記以外の倉庫	施設面積 1 m ² につき月額 7 5 8 円
その他施設使用料	生産者立売場	施設面積 1 m ² につき月額 7 2 6 円
	保冷倉庫	施設面積 1 m ² につき月額 1, 0 1 1 円
	市場内土地	1 m ² につき月額 4 6 5 円
	上記以外の施設	施設面積 1 m ² につき月額 5 1 1 円

令和 7 年 4 月 1 日現在

7 市場内業者

区分	団体名	役職	代表者氏名	法人	個人	計	合計
卸売業者	新下関青果株式会社 (せり人…5人)	代表取締役 社長	堀内 克也	1	—	1	1
仲卸業者	下関青果仲卸協同組合	理事長	岡崎 準一	13	6	19	19
売買参加者	新下関青果協同組合	理事長	川原 克憲	11	24	35	35
関連事業者	勝山第一食料品卸商組合	組合長	磯部 裕志	8	3	11	19
	勝山総合食品卸商業組合	組合長	吉廣亮太郎	2	3	5	
	飲食サービス関係	代表	前田 清充	—	2	2	
	学校給食センター（下関 アグリフードサービス株 式会社）	代表取締役	中島 和雄	1	—	1	
				36	38	74	74

令和7年4月1日現在

8 統計資料

(1) 市況の概要

	野 菜	果 物
4月	天候不順の為、白菜、大根、レタスは入荷減の単価高。トマトは順調入荷。茄子、胡瓜は入荷減の単価高。人参、玉ねぎは入荷減単価高。馬齢は入荷増の昨年並みの価格。	天候不順により数量減の単価高。西瓜は小玉が多く、大玉少ないため単価高。苺は病気等発生し数量増えず単価高。
5月	入荷量は前年並。キャベツは異常な価格で推移。3月の多雨、4月の天候不順により圃場でイタミ等が発生し、出荷量が減少した為。大根も同様太りが悪過ぎた。人参は入荷減、玉葱、馬齢は入荷増、トマトは前年より入荷減。価格は高値で推移。	入荷減の単価前年並み。りんご、苺、西瓜は天候不順により数量が少なく価格高くなった。
6月	入荷量は前年より1割減。キャベツ、大根は先月の単価高の反動で安値で推移。人参、玉葱、馬齢は産地急騰の為、高値で推移。果菜類はトマトは単価高。茄子、胡瓜、ピーマンは単価安。	入荷減の単価高。天候の影響により西瓜、りんごは出荷量少なく単価高となった。小玉西瓜は雨の影響により腐敗果が多く価格下落となった。
7月	入荷量は前年の1割減。高温の為高原野菜の白菜、レタスが高温障害で入荷減。玉葱、馬齢は状況は変わらず減少傾向。果菜類、ナスが品質低下、全体に高値で推移。	入荷減の単価前年並み。桃は山梨産が少なく単価高。西瓜も同様、県内を中心に少なく食味良好により単価高となった。
8月	入荷量は減。大根、白菜は産地で高温障害の為品質低下。キャベツは芯ぐされの発生が多い。ミニトマト、トマトも高温障害の為、入荷減。葱、ピーマンも同様。玉葱、馬齢等もイタミ、ぐされの発生率が高い。価格は高値で推移。	入荷量は前年に比べ減。単価は前年並み。梨はカメムシ等の被害により出荷量が少なく単価高。ぶどうは高温等の影響で入荷減の単価高。
9月	入荷量は2割減、白菜、レタス、茄子、ピーマン、トマト、胡瓜は高温障害の為入荷減の単価高。馬齢、玉葱も高温障害の為入荷減の単価高。全体的に単価高で推移。	入荷減の単価高。高温と病害虫、鳥獣害の影響により出荷量が激減し単価高となった。
10月	入荷量は前年並。キャベツ、白菜は端境期の為高値で推移。馬齢、玉ねぎは北海道産の入荷減で厳しい販売状況、人参は入荷増の為単価安。トマト、茄子、胡瓜は順調な入荷でも単価高で推移。	全体的には入荷減の単価高 みかん、柿は高温、病害虫の影響により出荷量が激減し単価高となった。りんごは数量増の単価前年並。
11月	入荷量は前年より1割弱減。白菜、牛蒡、人参は入荷増。高温障害のため、茄子、トマト、ピーマンは入荷減。トマトは異常な価格で推移。キャベツは、虫喰いの発生で品質低下。野菜全体が高値で推移。	入荷減の単価高。 みかん、柿はカメムシ、高温の影響で数量減の単価高。苺は高温により、苗に影響がでて10月前後の遅れの為単価高。
12月	入荷量は1割減。全体的に単価高、特にキャベツ、トマトは異常な高値で販売した。夏場からの天候不順の影響がある。軟弱物のホーレン草、葱等も高値で推移。	入荷減の単価高。特にみかんと苺で、みかんは大凶作によるもので苺は夏場の高温により苗不足等で出荷遅れにより価格上昇。
1月	入荷量は前年より増。重量物(大根、白菜、キャベツ、レタス)の単価が高値で推移。果菜類も同様、天候不順の影響が先月より引き続いている。馬齢、人参も同様。玉葱は安値で推移。	入荷減の単価高。 みかん、りんご、苺は天候の影響により出荷量が少なく単価高となった。
2月	入荷量は前年より1割強減。前年同様の環境の中、玉葱、ハス、しめじ以外は高値で推移。大根は太らない、白菜、キャベツ、レタスは巻かない状況。	入荷減の単価高。 天候不順により、生育遅れや出荷量減に伴い、みかん、りんご、苺は単価高となった。
3月	入荷量は前年より2割減。全体に高単価で推移。トマトが低温の為出荷が遅れて約2～3週間ずれる。馬齢、ゴボウはかなりの入荷減、トマトも同様。	入荷量は前年より2割減。単価は2割高。りんごは不作の為在庫量が少なく3割高。柑橘類も同様。苺は遅れていたものが出荷され2割安。

(2) 年度別取扱高一覧表(卸売業者取扱分のみ)

数量:トン

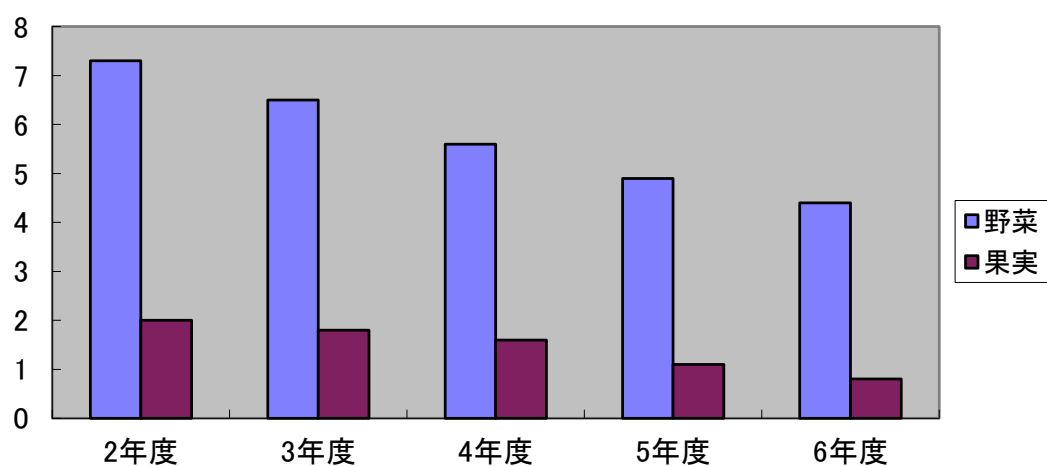
金額:千円

単価:円

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
野菜	数量	7,338	6,450	5,561	4,874	4,437
	金額	1,520,316	1,362,582	1,220,896	1,130,893	1,231,441
	単価	207	211	220	232	278
果実	数量	1,973	1,782	1,563	1,101	815
	金額	846,033	756,992	686,125	554,720	475,539
	単価	429	425	439	504	583
合計	数量	9,311	8,232	7,124	5,975	5,252
	金額	2,366,349	2,119,574	1,907,021	1,685,612	1,706,980
	単価	254	257	268	282	325

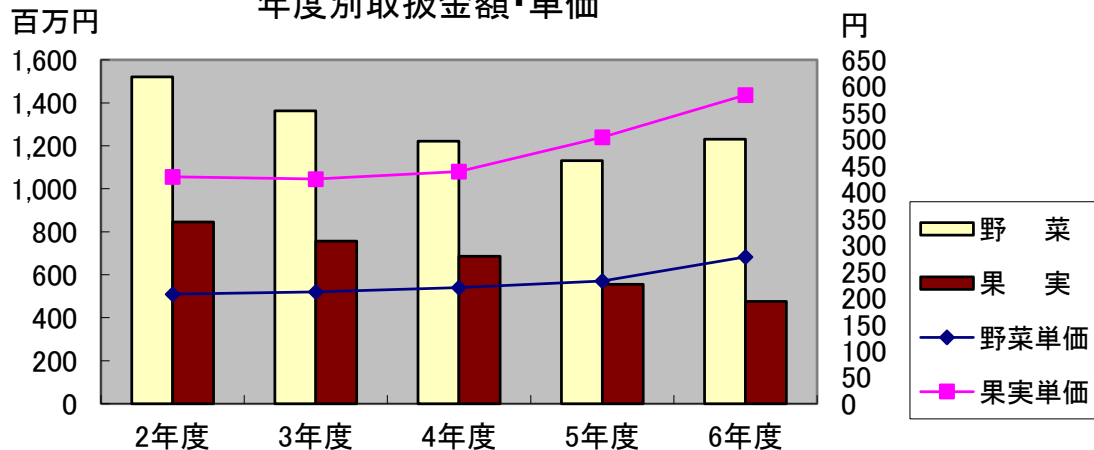
千トン

年度別取扱数量



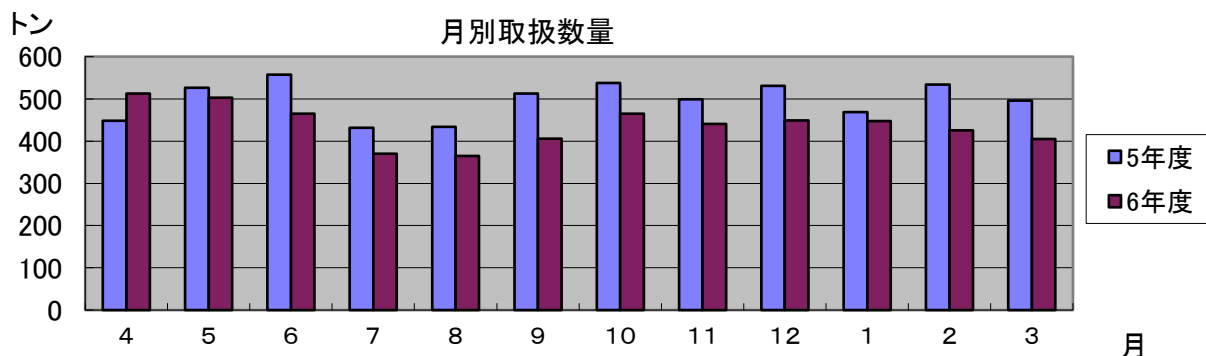
百万円

年度別取扱金額・単価

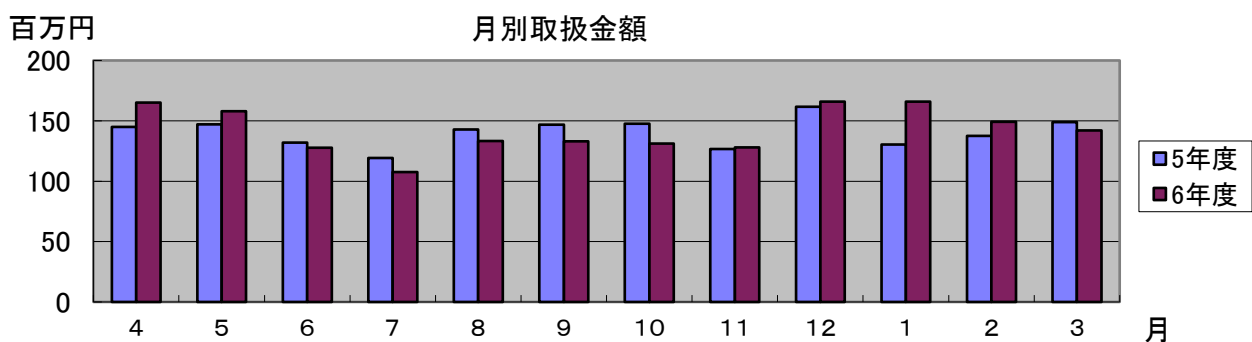


(3) 令和5・6年度月別取扱数量・金額比較

月別	数量 (kg)					
	5年度			6年度		
	野菜	果実	合計	野菜	果実	合計
4	385,071	62,929	447,999	459,113	53,520	512,633
5	474,945	51,076	526,022	461,266	41,422	502,688
6	502,160	55,190	557,350	413,642	51,141	464,783
7	361,536	70,333	431,869	327,640	42,266	369,906
8	357,758	76,075	433,833	300,897	63,592	364,488
9	421,721	91,050	512,771	345,230	60,655	405,885
10	420,231	117,102	537,333	386,788	77,969	464,757
11	387,914	111,158	499,072	363,126	77,398	440,523
12	397,215	133,294	530,509	361,851	86,730	448,580
1	340,200	128,307	468,507	347,684	100,041	447,724
2	417,519	116,204	533,723	334,425	90,876	425,301
3	407,399	88,597	495,996	335,004	69,734	404,738
合計	4,873,669	1,101,315	5,974,984	4,436,665	815,342	5,252,008



月別	金 額(千円)					
	5年度			6年度		
	野菜	果実	合計	野菜	果実	合計
4	109,391	35,526	144,917	131,494	33,563	165,057
5	116,566	30,531	147,097	133,905	24,165	158,070
6	98,255	33,800	132,055	104,059	23,660	127,719
7	79,774	39,469	119,243	82,447	25,216	107,663
8	83,775	59,007	142,782	82,686	50,636	133,322
9	101,320	45,481	146,801	90,865	42,137	133,002
10	105,041	42,475	147,516	96,809	34,278	131,087
11	87,340	39,206	126,546	98,385	29,695	128,080
12	100,376	61,345	161,721	117,257	48,558	165,815
1	66,934	63,517	130,451	100,775	65,139	165,914
2	81,282	56,171	137,453	95,857	53,245	149,102
3	100,839	48,191	149,030	96,902	45,246	142,148
合計	1,130,893	554,720	1,685,613	1,231,441	475,539	1,706,980



(4) 令和6年度主要品目・主要産地

	順位	品目	総数量	占有率%	県内産	県外産	主な産地	外国産
野	1	たまねぎ	730	16.5	39	691	北海道・佐賀・山口	0
	2	ばれいしょ	730	16.5	7	723	北海道・長崎・鹿児島	0
	3	にんじん	493	11.1	1	492	長崎・北海道・鹿児島	0
	4	キャベツ	493	11.1	85	408	群馬・鹿児島・山口	0
	5	はくさい	324	7.3	3	321	長野・鹿児島・大分	0
	6	だいこん	289	6.5	105	184	青森・山口・鹿児島	0
	7	トマト計	269	6.1	219	50	山口・熊本・鹿児島	0
	8	きゅうり	176	4.0	109	67	山口・宮崎・熊本	0
	9	レタス計	119	2.7	7	112	長野・長崎・山口	0
	10	野菜加工品	110	2.5	24	84	大分・山口・滋賀	2
	11	ねぎ計	99	2.2	52	47	山口・大分・鹿児島	0
	12	なす	74	1.7	10	64	福岡・熊本・山口	0
	13	ごぼう	68	1.5	0	61	北海道・青森・中国	7
	14	ながいも	65	1.5	0	65	青森・北海道	0
	15	れんこん	39	0.9	0	39	佐賀	0
菜		その他	359	8.1	207	124		28
		合 計	4,437	100.0	868	3,532		37

	順位	品目	総数量	占有率%	県内産	県外産	県外の主な産地	外国産
果	1	みかん	253	31.0	161	92	山口・大分・熊本	0
	2	りんご計	111	13.6	0	111	青森・長野	0
	3	いちご	81	9.9	80	1	山口・福岡・長野	0
	4	その他中晩生柑橘	65	8.0	29	36	山口・熊本・大分	0
	5	すいか	53	6.5	20	33	山口・長崎・熊本	0
	6	ぶどう計	37	4.5	0	36	福岡・大分・岡山	1
	7	なし計	36	4.4	24	12	山口・山形・鳥取	0
	8	バナナ	35	4.3	0	0	フィリピン・その他外国・山口	35
	9	かき計	30	3.7	0	30	福岡・鳥取・和歌山	0
	10	あまなつかん	26	3.2	14	13	山口・熊本・大分	0
	11	もも	22	2.7	0	22	長野・山梨・和歌山	0
	12	メロン計	17	2.1	4	13	山口・熊本・長崎	0
	13	伊予柑	12	1.5	3	9	愛媛・山口	0
	14	レモン	8	1.0	1	2	チリ・アメリカ・愛媛	5
	15	いちじく	5	0.6	0	5	福岡・熊本	0
実		その他	24	2.9	2	13		9
		合 計	815	100.0	337	428		49

〔単位 数量:トン〕